

新聞・雑誌から見る現代日本

しんぶん ざっし み げん だいに ほん

第4回

だい かい

「遺伝子組み換え食品」

いでん し く か しょく びん

このコーナーでは、新聞・雑誌の記事を通して現代日本事情を紹介するとともに、中等教育機関や高等教育機関で日本語を教える先生方が、新聞・雑誌の記事などの生教材をどうやって教材化し、中・上級の日本語の授業に活用できるかを提案していきます。今回は「遺伝子組み換え食品」に関する雑誌記事を取りあげます。

〈雑誌から〉

遺伝子組み換えは、ある作物の遺伝子の一部を他の生物の遺伝子と取りかえて自然界にはない新しい性質を持った別の作物を作り出します。その結果、害虫に強い作物、除草剤を使っても枯れない作物、腐りにくい作物などが開発されました。これら遺伝子組み換え作物は、世界の人口増大に伴う食料不足対策となる一方で、自然生態系の破壊や長期摂取による健康への影響など決して放置しておけない問題をはらんでいます。

日本はまだ試験栽培にとどまっていますが、アメリカなどで大豆、とうもろこし、じゃがいも、綿など遺伝子組み換え作物が開発され、輸入作物に交ざって日本にも入り、加工食品の原料や飼料として流通しています。

遺伝子組み換え食品とは、遺伝子組み換え作物を原料にしている食品を言います。例えば、じゃがいもからポテトチップスやフライドポテトなど、トウモロコシからコーン油やマーガリンなど、大豆から味噌や豆腐などが作られます。遺伝子組み換え作物の人体への安全性がはっきりしていない現在、遺伝子組み換え食品か否かの表示をめぐる、さまざまな意見があります。

著作権の関係で掲載ができません。

ちよさくけん かんけい けいさい

朝日新聞AERA1999年9月13日号「遺伝子組替食品 曖昧な表示に安全性の不安」

『日本語教育通信』2000年1月「新聞・雑誌から見る現代日本」

第4回に掲載している記事は、著作権の関係で掲載ができません。

記事を使った練習案

1. 記事から主要な情報だけを読みとり文にまとめる練習：

次のそれぞれの団体や組織は遺伝子組み換え食品についてどのように考え、対応していますか。記事の関係のある箇所に線を引き、その内容を文にまとめましょう。

農林水産省 (農水省) のうりんすいさんしやう のうすいしやう	
消費者団体 しやうひしゃだんだい	
食品業界 しよくひんぎやうかい	
小売業界 こくりぎやうかい	
商社 しやうしや	

2. 記事に出ている表現の練習：

- 記事にはいくつかの引用文があります。引用文の「と」以下の表現を見ると、引用した部分をそのまま事実として書いてあるものと、引用内容に関する筆者の解釈（判断）が加わっているものとに分かれます。記事の①～⑧の引用文はそのどちらでしょうか。
- 次の下線の表現は、本文ではどのように書かれていますか。
 - ① 遺伝子組み換えをしていないことが、価値を高める時代になったんです。
 - ② 一般大豆より最大で二倍ほど生産価格が高くなるので、来年以降も安定した注文があるかどうかわからない。

3. 応用練習：

あなたの国で流通している遺伝子組み換え食品にはどのようなものがあるのか、政府はどのような方針をとっているのか、また、それらについての消費者の意見などを調べてレポートを書きましょう。レポートでは、この記事にあるような引用を参考に見てみましょう。

〈解答例〉

1. 農林水産省 のうりんすいさんしやう	遺伝子組み換え食品に関する基準をまとめ、2001年から実施する予定。表示対象は政府が「安全」と輸入を認めている大豆などと、その加工製品の計30品目。
消費者団体 しやうひしゃだんだい	輸入される遺伝子組み換え農作物の90%は表示対象から外れてしまうため、農水省の表示案を批判。遺伝子組み換え食品は危険だから表示するという立場をとる。
食品業界 しよくひんぎやうかい	国が遺伝子組み換え食品は安全だと認めていることを前提にしている。表示を実行している企業は少なく、ほとんどが検討中。中小企業が多いので表示することで製品価格が上がることを心配している。
小売業界 こくりぎやうかい	現在大手は未表示だが、表示に向けて検討中。
商社 しやうしや	非遺伝子組み換え作物の確保を開始。丸紅はアメリカで非遺伝子組み換え大豆の契約栽培を開始。

- (1) 事実として書いてあるもの：①、③、④ 筆者の解釈が書かれているもの：②、⑤、⑥、⑦、⑧
(2) ①付加価値を持つ ②コスト高になる、未知数

今回の練習案に関するご意見をお待ちしています。また、今回の記事を使って授業をしたときの様子や結果などを編集部までお寄せください。

このコーナーの担当＝坪山由美子、長坂水晶（日本語国際センター専任講師）